

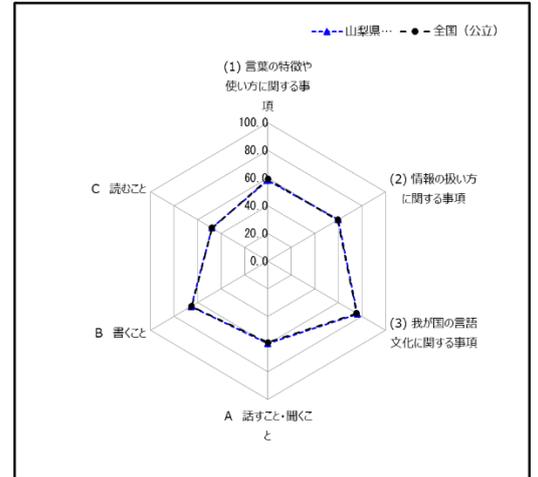
全国学力・学習状況調査 中学校 第3学年 国語

集計結果

	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
山梨県 (公立)	5,539	8.7 / 15	58	9.0	3.3
全国 (公立)	875,574	8.7 / 15	58.1	9.0	3.4

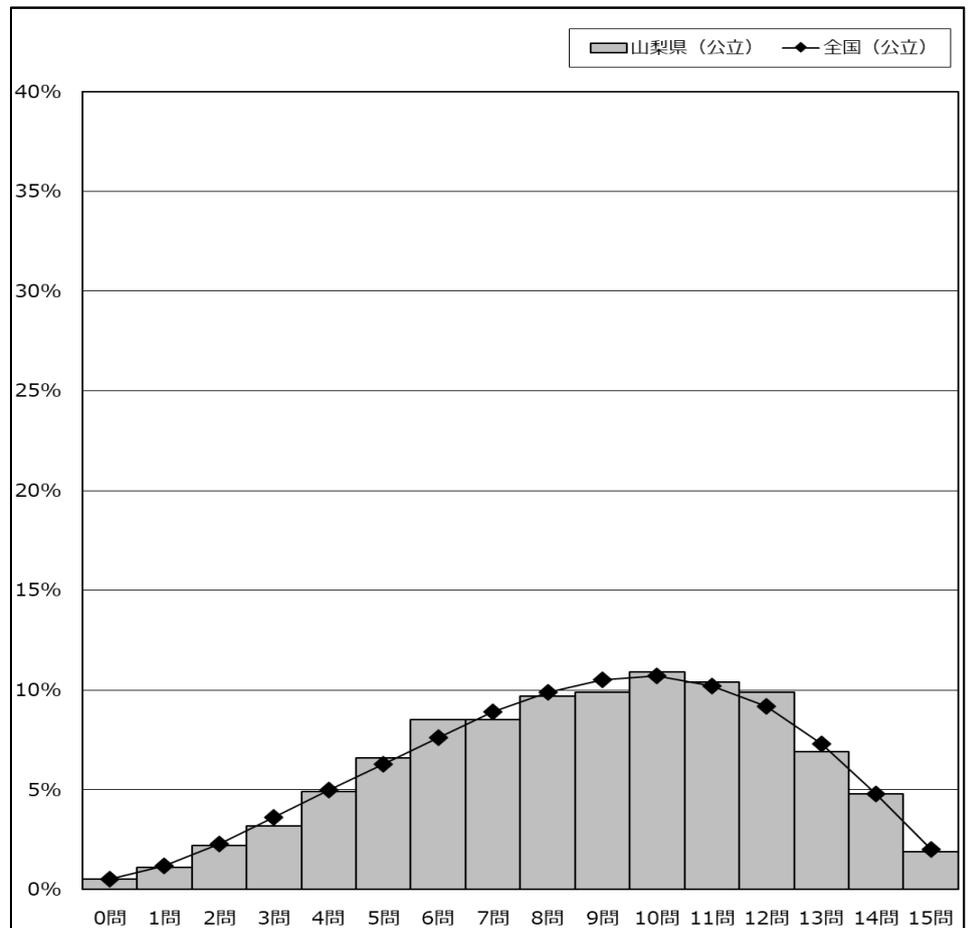
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			山梨県 (公立)	全国 (公立)
全体		15	58	58.1
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	58.3	59.2
		(2) 情報の扱い方に関する事項	59.9	59.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	76.4	75.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	59.6	58.8
		B 書くこと	65.7	65.3
		C 読むこと	48.0	47.9
評価の観点	知識・技能	6	61.9	62.0
	思考・判断・表現	9	55.8	55.4
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	9	61.4	61.0
	短答式	3	60.4	61.8
	記述式	3	46.7	45.5

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



正答数集計値・分布グラフ

正答数集計値			
正答数	生徒数	割合(%)	
	山梨県 (公立)	山梨県 (公立)	全国 (公立)
15問	105	1.9	2.0
14問	267	4.8	4.8
13問	384	6.9	7.3
12問	548	9.9	9.2
11問	576	10.4	10.2
10問	606	10.9	10.7
9問	551	9.9	10.5
8問	537	9.7	9.9
7問	472	8.5	8.9
6問	469	8.5	7.6
5問	363	6.6	6.3
4問	270	4.9	5.0
3問	177	3.2	3.6
2問	124	2.2	2.3
1問	61	1.1	1.2
0問	29	0.5	0.5



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容					評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	山梨県(公立)	全国(公立)	山梨県(公立)	全国(公立)
		(1)	(2)	(3)	A	B	C										
1一	話合いの中の発言について説明したのとして適切なものを選択する				1 エ			○		○			66.3	63.2	0.2	0.4	
1二	話合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む				2 ウ			○			○		66.9	68.5	2.7	3.5	
1三	話合いの中の発言について説明したのとして適切なものを選択する		1 ア					○		○			44.7	44.0	0.3	0.5	
1四	話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く				1 オ			○			○		45.6	44.7	7.8	9.9	
2一	本文中の図の役割を説明したのとして適切なものを選択する					2 ウ		○		○			36.1	36.3	0.3	0.5	
2二	本文中の情報と情報との関係を説明したのとして適切なものを選択する		2 ア					○		○			75.2	75.2	0.3	0.6	
2三	本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものをそれぞれ選択する					2 ア		○		○			64.4	64.5	0.3	0.6	
2四	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する					1 ウ		○			○		43.9	42.6	8.5	8.4	
3一	物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する				1 ア			○		○			81.0	81.4	0.5	0.7	
3二	物語の下書きについて、文中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なものを選択する		2 オ					○		○			52.1	53.8	0.8	1.0	
3三	漢字を書く(みちたりた)		2 ウ					○			○		66.5	68.8	10.1	10.2	
3四	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する					2 ウ		○			○		50.4	49.3	13.4	15.0	
4一	短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する		1 オ					○		○			56.4	54.9	1.8	1.8	
4二	短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える					1 イ		○			○		47.7	48.3	3.5	3.4	
4三	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する			1 エ(イ)				○		○			76.4	75.6	2.4	2.3	

目的や相手に応じて、文章中から 必要な情報を取り出すことができる生徒

こんな姿を
目指したい



正答例 2 四

ア 葉の形を表す言葉を、二次元的な形容のグループと三次元的な形容のグループに分け、前者には多様性、後者には共通性という特徴があると述べている。

誤答から見えるつまずき

・【取り上げる情報が不足】

選んだ〈着目する内容〉について、取り上げる情報が目的や相手に応じて十分ではなかったり、文章の内容を誤って捉えていたりするなど、必要な情報を適切に取り上げて書くことができていない。

・【内容を誤って捉えている】

文章中に出てくる「二次元的」「三次元的」「多様性」「共通性」「普遍性」といった文章中のキーワードがどのように使われているかを理解し、筆者の考えを正しく捉えることができていない。

特徴的な誤答

ア 筆者は、葉の形を表す言葉を、二次元的な形容のグループと三次元的な形容のグループに分け、前者には共通性、後者には多様性という特徴があると述べている。

→ 文章中の情報を取り上げているが、内容を正しく捉えられていない

1 学年の学習で...

日々の学習における改善・充実

○ 言語活動例

「植物の形には意味がある」を読み、理解したことを報告しよう。

言語活動
を通して

第1学年 C読むこと(1)ウ

目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写を結び付けたりして、内容を解釈すること。

資質・能力
を育成する

取り上げた情報が正しく捉えられているか吟味することができるようにしましょう。



読んだことのない人に内容を理解してもらうために、「葉の形」と「特徴」を整理していきましょう。



文章中の情報がどのような関係で使われているか表にまとめた方がわかりやすそうだね。

葉の形	二次元的な形容	三次元的な形容
特徴	共通性	多様性

取り上げた情報を表にまとめることで、「葉の形」と「特徴の関係」が一目で見てわかりやすいですね。では、取り上げた情報が読んだことのない人へ伝えるために正確なものか確認してみましょう。



「葉の形」については、「二次元的」と「三次元的」のグループ分けでよさそうですね。でも、「特徴」として取り上げた「共通性」と「多様性」について、葉の形との関係は適切でしょうか。

<日常的に実践できること...>

- ・ 新聞記事やニュースの内容を要約する
- ・ 文学作品のあらすじを指定の字数でまとめる
- ・ 図表を用いながら情報を整理する
- ・ 1分間で自分の考えをスピーチする

目的や相手に応じて必要な情報を取り出し、その情報が適切なものであるか考える学習課題を設定しよう！

ここが
POINT



②

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔蘭池公毅〕植物の形には意味がある」による。

〔蘭池公毅〕植物の形には意味がある」による。

〔蘭池公毅〕植物の形には意味がある」による。

四 本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約します。次のア、イから一つ選んで（どちらを選んでもかまいません）要約しなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、一本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

ア 筆者が、葉の形を表す言葉をどのようなグループに分け、各グループにどのような特徴があると述べているかについて。
イ 筆者が、数学や物理学などと生物学とでは、学問としてどのような違いがあると述べているかについて。

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

〈着目する内容〉

① ②

← 選んだ〈着目する内容〉を塗りつぶしなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

学習指導要領における領域・指導事項

〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと (1)

ウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈すること。

これからの授業構想に向けて（考えの形成の重視）

中学校では、伝えたい内容や自分の考えについて根拠を明確にして書いたり話したりすることや、複数の資料から適切な情報を得てそれらを比較したり関連付けたりすること、文章を読んで根拠の明確さや論理の展開、表現の仕方等について評価することなどに課題があることが明らかになっている。

全ての領域において、自分の考えを形成する学習価値を重視し、「**考えの形成**」に関する指導事項を位置付けた。

	学習過程	(1)指導事項		
		第1学年	第2学年	第3学年
A 話すこと・聞くこと	話すこと	イ 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。	イ 自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫すること。	イ 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫すること。
	聞くこと	エ 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて自分の考えをまとめること。	エ 論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。	エ 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりすること。
	話し合うこと	オ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。	オ 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。	オ 進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすること。
B 書くこと	考えの形成、記述	ウ 根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	ウ 表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫すること。
C 読むこと	考えの形成、共有	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする。	オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。	エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。

これからの授業構想に向けて（具体的な設問と結果から）

【全国学力・学習状況調査】

大問2 設問一	〔第2学年〕 Cウ 文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。
大問2 設問四	〔第1学年〕 Cウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして内容を解釈すること。
大問3 設問四	〔第2学年〕 Bウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

【山梨県学力把握調査】

大問1 設問3	〔第1学年〕 Aオ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。
大問3 設問1	〔第1学年〕 Cウ 目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして内容を解釈すること。

- ・ **文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する。**
- ・ **目的に応じて必要な情報に着目して要約する。**
- ・ **全ての領域において、考えの形成を重視する。**



これからの授業構想に向けて（授業アイデア）

全国学力・学習状況調査 授業改善のポイント（調査課題②④）

目的や相手に応じて、文章中から必要な情報を取り出すことができる生徒

読者の視点 二次元的な読者のグループと三次元的な読者のグループに分け、前者には多様性、後者には共通性という特徴があると考えている。

読者の視点 二次元的な読者のグループと三次元的な読者のグループに分け、前者には多様性、後者には共通性という特徴があると考えている。

読者の視点 二次元的な読者のグループと三次元的な読者のグループに分け、前者には多様性、後者には共通性という特徴があると考えている。

読者の視点 二次元的な読者のグループと三次元的な読者のグループに分け、前者には多様性、後者には共通性という特徴があると考えている。

読者の視点 二次元的な読者のグループと三次元的な読者のグループに分け、前者には多様性、後者には共通性という特徴があると考えている。

読んだことのない人に内容を理解してもらうために、「葉の形」と「特徴」を整理していきましょう。

葉の形	二次元的な形容	三次元的な形容
特徴	共通性	多様性

文章中の情報がどのような関係で使われているか表にまとめた方がわかりやすそうですね。

取り上げた情報を表にまとめることで、「葉の形」と「特徴の関係」が一目で見てわかりやすくなります。では、取り上げた情報が読んだことのない人へ伝えるために正確なものが確認してみましょう。

「葉の形」については、「二次元的」と「三次元的」のグループ分けでよさそうですね。でも、「特徴」として取り上げた「共通性」と「多様性」について、葉の形との関係は適切でしょうか。

目的や相手に応じて必要な情報を取り出し、その情報が適切なものであるか考える学習課題を設定しよう！

ここが POINT



これからの授業構想に向けて（授業アイデア）

県学力把握調査 授業改善のポイント（調査問題通し番号3）

話し合いの話題や展開を捉えながら、発言を結び付けて自分の考えをまとめることができる生徒

課題がある設問（通し番号3） 話し合いの話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめているかどうかを見る設問。

分析と課題 話し合いに参加していても、話題を意識しながら話し合うことに課題がある。また、他者の発言を結び付けて自分の考えをまとめることに課題がある。

日々の学習における改善・充実

言語活動例 「話し合いをするときに大切なこと」を考えよう。

言語活動を振り返る機会を設定する

教師が振り返る機会を明らかにして、生徒が学習を振り返る機会を設定する

授業アイデア例 話し合いの話題や展開を捉えながら、発言を結び付けて自分の考えをまとめる

【本アイデア例と関連する問題及び学習指導要領における内容】
設問例 正答率 45.1%
〔第1学年〕 思考力、判断力、表現力等 A
オ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。

教材 ● 教師が作成した話し合いの話題に関する資料、教科書に掲載されている話し合いの話題に関する資料
※ 本アイデア例では、令和6年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語【フィールドワーク観察の資料】を参考にして作成した【エコーチェンバー現象の資料】を用いている。

学習の流れ
第1時
① 学習の見通しをもつ。
授業や生徒会活動などで、資料を基に議題を決めて話し合うことがある。そのように工夫する

授業アイデア例 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する

【本アイデア例と関連する問題及び学習指導要領における内容】
設問例 正答率 49.8%
〔第2学年〕 思考力、判断力、表現力等 B
ウ 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

教材 ● 令和6年度全国学力・学習状況調査【中学校】国語【改定】
※ 本アイデア例では、調査問題の【ノートの一部】、【物語の下書き】を一筆改定したものを採用している。

学習の流れ
第1時
① 学習内容と言語活動を確立し、学習の見通しを立てる。
（学習内容）表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章にするための工夫をする。
（言語活動）体験をもとに、身近なものを登場人物にした物語を書く。
体験を基に、身近なものを登場人物にした物語を創作します。次の（中学生が書いた物語）と、物語を書くための（構想メモ）を振り返りましょう。

教師
〔中学生が書いた物語〕
〔構想メモ〕

- 「考えの形成」は考えを表出させて終わりではない。
- 生徒の「振り返り」は「何を」振り返ればいいのかを明確に。



山梨県学力把握調査 中学校 第2学年 国語

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	県-全国 (ポイント)
5538	24	58.5	54.8	3.7

※推定全国値とは、事前の調査による様々な指標値の結果を基に推定した正答率を示しています。

		県平均正答率 (%)	推定全国値 (%)	県-全国 (ポイント)
領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	51.6	47.5	4.1
	情報の扱い方に関する事項	49.0	44.2	4.8
	我が国の言語文化に関する事項	70.1	62.9	7.2
	話すこと・聞くこと	69.9	68.0	1.9
	書くこと	61.2	58.4	2.8
	読むこと	53.8	49.4	4.4
観点	知識・技能	54.3	49.5	4.8
	思考・判断・表現	59.9	56.5	3.4
解答形式	選択式	60.2	56.7	3.5
	短答式	61.3	55.1	6.2
	記述式	49.7	46.2	3.5

設問別正答率												
通し 番号	解答 形式	観点		領域				問題の内容	出題のねらい	県平均 正答率 (%)	推定 全国値 (%)	全国との差 (ポイント)
		知	思	言葉	情報	言語	話聞					
1	選択		○					○		93.7	92.8	0.9
2	選択		○					○		82.9	79.5	3.4
3	記述		○					○		37.1	36.1	1.0
4	選択		○					○		57.4	52.8	4.6
5	選択		○					○		78.3	78.6	-0.3

6	選択	○							地域の図書館についてのレポートを書く	目的に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝えたいことを明確にしているかどうかをみる。	68.0	65.5	2.5
7	選択	○		○					文法・語句に関する事項	情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。	49.0	44.2	4.8
8	選択	○							地域の図書館についてのレポートを書く	読み手の立場に立って、文章を整えているかどうかをみる。	58.3	54.4	3.9
9	記述	○								根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫しているかどうかをみる。	55.8	54.5	1.3
10	選択	○								読み手からの助言を踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしているかどうかをみる。	62.9	59.3	3.6
11	選択	○		○					文法・語句に関する事項	小学校で学習した漢字を正しく使っているかどうかをみる。	54.2	51.3	2.9
12	記述	○							言葉の使い方に関する文章を読む	目的に応じて必要な情報に着目して要約しているかどうかをみる。	28.7	25.6	3.1
13	選択	○								事実と意見の関係について叙述を基に捉えているかどうかをみる。	49.5	44.3	5.2
14	選択	○								文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えているかどうかをみる。	64.0	60.7	3.3
15	選択	○									43.6	40.1	3.5
16	選択	○								文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっているかどうかをみる。	78.1	72.4	5.7
17	記述	○									77.2	68.5	8.7
18	短答	○		○						文法・語句に関する事項	単語について理解しているかどうかをみる。	52.5	47.3
19	選択	○		○					文節の関係について理解しているかどうかをみる。		35.2	33.5	1.7
20	選択	○							文学的な文書を読む	登場人物の心情について、描写を基に捉えているかどうかをみる。	60.3	57.5	2.8
21	選択	○								表現の効果について、根拠を明確にして考えているかどうかをみる。	38.0	33.3	4.7
22	選択	○								場面と場面を結び付けて、内容を解釈しているかどうかをみる。	45.1	41.9	3.2
23	短答	○				○			文法・語句に関する事項	歴史的仮名遣いについて理解しているかどうかをみる。	70.1	62.9	7.2
24	選択	○		○						漢字の部首について理解しているかどうかをみる。	64.7	57.9	6.8

◎観点の表記の意味は下記の通りです。

【観点について】(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現

【領域について】(言葉)言葉の特徴や使い方に関する事項 (情報)情報の扱い方に関する事項
(言語)我が国の言語文化に関する事項 (話聞)話すこと・聞くこと (書)書くこと
(読)読むこと

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
23	文法・語句に関する事項	歴史的仮名遣いについて理解しているかどうかをみる。	知識・技能	短答
1	学級をよりよくするために話し合う	目的に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討しているかどうかをみる。	思考・判断・表現	選択
2		必要に応じて質問しながら話の内容を整えているかどうかをみる。		選択
5		相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫しているかどうかをみる。		選択
16	言葉の使い方に関する文章を読む	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっているかどうかをみる。		選択
17				記述

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号3」に関連した具体的な授業例の提示

通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
3	37.1	36.1	1.0	思考・判断・表現	記述
問題の内容	学級をよりよくするために話し合う				
出題のねらい	話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	話題や展開を捉えながら話し合うために、何についてどのような目的で話し合っているかといった、話し合いの流れを生徒が常に意識できるような機会を設定することが考えられる。また、話し合いの展開に応じて、自分の発言と他者とを結び付けたり、他者同士の発言を結び付けたりして、自分の考えや集団の考えをまとめられるように、学習活動の中で話し合いの内容を記録したり、考えを整理したりすることが大切である。				
通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
12	28.7	25.6	3.1	思考・判断・表現	記述
問題の内容	言葉の使い方に関する文章を読む				
出題のねらい	目的に応じて必要な情報に着目して要約しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	目的に応じて必要な情報に着目して要約するために、生徒が要約を行う目的を確認できる場面を学習活動の中に設定することが大切である。また、要約したものが目的に沿っているかを考え、さらに必要な情報を取り出したり捉えたりしたりすることができるかを生徒が意識することが大切である。他者と協働的に学習に取り組む機会を設定することで、生徒が自分の要約した内容を俯瞰的な視点から振り返ることができると考えられる。				
通し番号	県平均正答率(%)	推定全国値(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
19	35.2	33.5	1.7	知識・技能	選択
問題の内容	文法・語句に関する事項				
出題のねらい	文節の関係について理解しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	文節の関係について理解を深めていくために、文節の関係について学習する機会を単発的に行うだけでなく、[思考力、判断力、表現力等]の各領域の学習過程における指導との関連を意識的に図ることが必要となる。「A話すこと・聞くこと」における「表現、共有(話すこと)」、「B書くこと」における「考えの形成、記述」「推敲」の指導事項と関わりをもたせながら、知識として定着できる学習過程を考えることが大切である。				

こんな姿を
目指したい！

話し合いの話題や展開を捉えながら、発言を結び付けて

自分の考えをまとめることができる生徒

課題がある設問（通し番号3）

話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめているかどうかを見る問題。

分析と課題

話し合いに参加していても、話題を意識しながら話し合うことに課題がある。また、他者の発言を結び付けて自分の考えをまとめることに課題がある。



1 学年の学習で…

日々の学習における改善・充実

- 言語活動例
「話し合いをするときに大切なこと」を考えよう。

言語活動を通して

- 指導事項
〔第1学年〕思考力、判断力、表現力等
A 才 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる。

資質・能力を育成する

話し合いを踏まえ、話題についての自分の考えを振り返る機会を設定する

- 学習の流れ
- ① 学習の見通しをもつ。
- ② 資料や提供された情報から、話題を確認する。
→ 話題について話し合いをしている様子の導入部分のみをワークシートなどで例示する
- ③ 【話し合いの一部（導入部の例）】の続きを考え、話し合う。
→ ワークシート内の話し合いの続きをグループ等で話し合いながら考える
- ④ 話し合ったことを基に、自分の考えをまとめる。

本時は「〇〇」という話題についてグループで話し合いました。
グループで話した内容を踏まえて、話題についてあなたが考えたことをまとめましょう。



教師が振り返る観点を明らかにして、生徒が学習を振り返る機会を設定する

- 学習の流れ
- ⑤ 前時の学習を振り返る。
→ 前時④【話し合いを踏まえた自分の考え】を受け、「話し合いの中の誰の発言と結びつくか明確でないもの」「話題とのつながりが具体的でないもの」を取り上げワークシート等で例示
- ⑥ 「【話し合いを踏まえた自分の考え】の例」のまとめ方について分析する。
→ 例示を参考に、自分の考えのまとめ方を意識して話し合う
- ⑦ 前時の話し合いで分かったことを踏まえ、自分の生活で意識したいことについて話し合う。
- ⑧ 話し合ったことを基に、自分の考えをまとめる。学習を振り返る。

話し合ったことを踏まえて、これからの話し合いでどのように生かしていきたいか。**学習を通して気づいたこと**を振り返ってみましょう。



<日常的に実践できること…>

- ・ 話し合いの話題を可視化して提示する
- ・ 自分の考えの基になる発言や話し合いの内容をメモさせる
- ・ 話し合いの序盤や発言がある程度出た段階で話し合う目的を確認する
- ・ 振り返りの観点を明確にする

ここが Point

自分の考えが話し合いの話題や内容とどのように結びついているか、そのつながりが分かるようにまとめられたかを振り返ろう！